



犀陵だより

第13号 平成25年1月28日

本年度まとめ、来年度に向けて

1月も早、最終週を迎えました。本年度も残すところ登校日35日となりました。あつという間に卒業式を迎えることとなります。

さて、この時期学校では、一年のまとめと来年度に向けての準備を始めています。新年度をよい年にするために、しっかりと準備をしていきたいと思えます。そこで、本年度の振り返りで、保護者の皆様、生徒のみなさんに学校自己評価のアンケートを行なった結果を以下にお知らせします。



平成24年度 学校生活についての保護者・生徒の意識 (学校自己評価アンケートより)

	保護者		生徒	
1	学校は、学校教育目標・具体目標の実現のために努力している。	3.15	私は、何事にも丹精を込めて丁寧にあたることを心がけて生活している。	2.94
2	教師はよりよい学級を求めて努力している。	3.30	学級での生活が楽しい。	3.40
3	子どもは、学校に行くのが楽しいと言っている。	3.35	私は、友達のよさをみつけたり、認めたりすることができる。	3.26
4	授業のねらいがはっきりしていて分かりやすい。	2.93	私は、いじめをしたり、嫌がらせをしたりしない。	3.29
5	教師は子どものことについてよく理解し、親身に相談に応じている。	3.18	私は、学活等で大きな声で楽しく歌っている。	2.57
6	学校は、人権教育にしっかり取り組んでいる。	3.13	私は、きれいな教室で生活できるように、自分のものの管理や整頓に心がけている。	3.21
7	学級活動や集会活動で合唱に取り組んでいる。	3.08	私は、身支度を整え黙って清掃に取り組んでいる。	3.12
8	環境が整い、清掃が隅々まで行き届き、掲示物がしっかりと掲示されている。	3.23	私は、挨拶をいつでもどこでもだれとでも進んで行っている。	3.19
9	生徒は挨拶がよくできる。	2.78	私は、「朝の読書」に、静かに集中して取り組んでいる。	3.38
10	学校での子どもの様子は、学年通信や学級通信などからよく分かる。	3.16	私は、給食の準備で友達とともに協力して配膳している。	3.21
11			私は、学年通信や学級通信を毎回しっかりと読んでいる。	3.12

*数値は <A:十分>を4点、<B:おおむね十分>を3点、<C:やや不十分>を2点、<D:不十分>を1点として平均点を求めたものです。2.5点が中間点になります。

この結果を踏まえ、以下の点を今後の課題としていきます。

- ・2の生徒への質問「学級での生活が楽しい」については、生徒は学校生活を楽んでいる姿が伺える。友との関係づくりや各活動の充実を今後も支援したい。
- ・4の保護者への質問「授業のねらいがはっきりしていて分かりやすい」については保護者の評価も低い、教師への調査から教師側もねらいをはっきりさせて授業に臨む



ことが課題であることを自覚している。学習問題や課題、ねらいの表示を授業で確実にやっていく。

- ・ 5の生徒への質問「私は学級等で大きな声で楽しく歌っている。」については、職員も一緒に歌い、指揮をし、楽しく歌う活動を位置付けていきたい。
- ・ 9の保護者への質問「生徒は挨拶がよくできる」について生徒と比べ評価が低いのは、校外に於ける評価だと思われる。地域に出ても気持ちのよい挨拶ができるように、生徒の生きる力の一つとして身に付けられるように支援したい。

メール、インターネット使用は要注意

学級や学年などのお便り等でも時々注意を喚起していますが、中学校においても、年々、メールやインターネットに関するトラブルが増えています。学校でも生徒たちには指導をしていますが、ご家庭におかれましても、以下の点を頭に置き、お子様のメール、インターネットの使用について、きちんと約束事を決め、時々使用状況等を確認するなどご留意をお願いします。くれぐれもご留意をお願いします。また、携帯電話の購入についても、本当に必要であるかなど、よく検討をされて行うようにしてください。

◎よくあるトラブル

- ・ インターネットの掲示板等に悪口を書き込む。
- ・ 自分や他人の写真や個人情報をインターネットの掲示板等に載せてしまう。
- ・ メールを使って友達同士で他人の悪口を送り合う。
- ・ メールを使って直接本人に悪口などを送る。



◎留意点

- ・ インターネットは世界中だれでも見ることができます。自分は、日記や交換ノートのようなつもりで載せたとしても、実際には、新聞に載せたりテレビで放送しているのと同じことです。
- ・ 載せた文や情報、写真などは誰かがコピーしてしまえば、自分が削除しても永久にどこかに残ってしまい、どんどん広まってしまったり、場合によっては悪用されたり、という危険があります。
- ・ メールには表情や感情が含まれません。自分が軽い気持ちで書いた言葉でも、相手は重大に受け止めてしまうことは十分考えられます。自分の思いとは違う相手の受け止めにより、大きなトラブルに発展することはよくある事です。また、メールの言葉は永久に残り、それを見るたびに同じ思いがこみ上げてきます。相手を傷つければ一生その思いは残っていくことになります。
- ・ メールは、ある友だちだけに送ったつもりでも、そこから多くの人に広がることもよくあります。悪口やトラブルに発展するような内容は、だれに対しても決して送信してはいけません。

インフルエンザの感染に注意

全国的にインフルエンザが大流行していますが、本校においても、先週は2年生の1学級で3日間の学級閉鎖になるなど、感染が拡大しています。本日は9名がインフルエンザで欠席しています。これ以上拡大しないように、うがい、手洗い、マスクの使用、規則正しい生活など、予防にご配慮ください。

